

(参考)

○昨年度調査実績例(平成20年度成果報告所から抜粋)

表 3.2.2-4(a) 真の故障・事故発生要因内訳
(平成20年度)

故障事故要因	要因内訳	発生回数	構成率
自然現象	暴風	0	0.0%
	落雷	28	28.6%
	乱流	0	0.0%
	低温・凍結	0	0.0%
	浸水	4	4.1%
その他*	3	3.1%	
風車内故障	設計不良	6	6.1%
	製造不良	9	9.2%
	施工不良	4	4.1%
人的要因	メンテ不備	2	2.0%
系統故障	系統故障	0	0.0%
原因不明 その他	調査中	16	16.3%
	特定できず	17	17.3%
	その他*	9	9.2%
計		98	100.0%

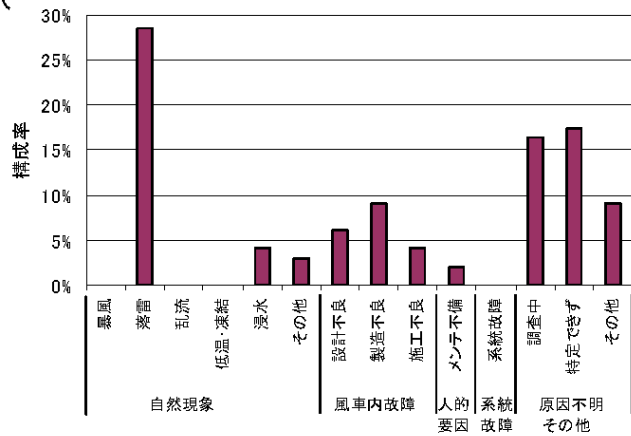


図 3.2.2-4(a) 真の故障・事故発生要因内訳(平成20年度)

* 「自然現象」の「その他」には「特異風況」というものが2件、「塩害」が1件である。また、「原因不明・その他」の「その他」はおもに「経年劣化」と報告されたものである。

表 3.2.2-5(a) 発生部位別発生状況
(平成20年度)

故障事故部位	発生回数	構成率
全般	0	0.0%
ブレード	10	8.5%
ハブ	0	0.0%
空カブレーキ	1	0.8%
機械式ブレーキ	3	2.5%
ピッチ制御装置	12	10.2%
主軸/ベアリング	4	3.4%
ギアボックス	4	3.4%
発電機	6	5.1%
ヨー装置	3	2.5%
風向風速計	6	5.1%
制御装置	17	14.4%
電気装置	19	16.1%
油圧装置	7	5.9%
センサ類	6	5.1%
基礎	0	0.0%
系統連系装置	13	11.0%
その他	7	5.9%
計	118	100%

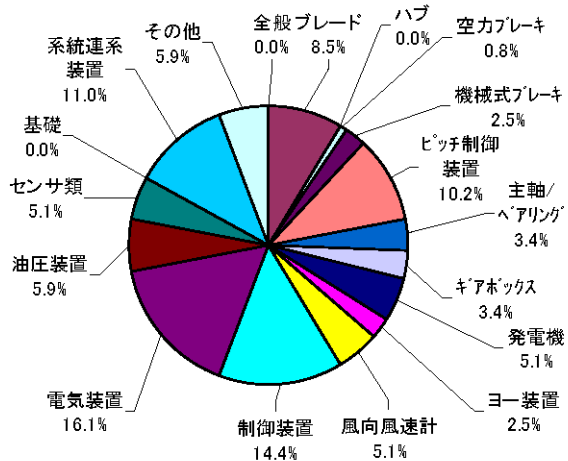


図 3.2.2-7(a) 発生部位別集計(平成20年度)

注) 複数部位が故障した場合はそのまま計上しているため、発生回数の合計は故障・事故件数(98)より大きい数値となっている。

(※平成20年度成果報告書は以下の手順でダウンロードできます)

NEDOウェブサイト→資料・データベース→1. 成果報告書データベース(登録無料)
→「2009000000208」または「故障・事故」で検索していただくと報告書(PDF)がダウンロードできます。)